しんぶん赤旗
2007年11月4日　日曜日
日刊第20456号
発行所　日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
〒151-8586　電話　03(3403)6111
©日本共産党中央委員会2007年

定価(税込み)
日刊月2900円(郵送は別途送料1380円)1部100円
日曜版月800円(同送料234円)1部200円
振替　00180-6-194897
ファクス　中央委員会　03(5474)8358
赤旗編集局　03(3350)1904
日本共産党のホームページ
http://www.jcp.or.jp/

「民意はどこにいっちゃったの」

「びっくりです。国民の目の届かないところで話し合うというのはいい感じがしない」（川崎市の女性会社員・三十一歳）―。福田康夫首相（自民党総裁）と小沢一郎民主党代表二人だけの党首会談（二日）で明らかになった唐突な「大連立」協議の話し合いに国民はあぜん、怒りの声をあげています。

列島あぜん

首相と小沢氏「大連立」密室協議

名古屋市内で三日開かれた「憲法九条を守ろう県民のつどい」に参加した中島崇博さん（三六）＝法律事務勤務＝は「選挙のときには自民党とは違うんだといって、選挙で勝ったのに結局一緒になるとすれば、いっそうひどい政治不信を招くだけだ」。三日放映のTBS系番組「サタデーずばッと」で司会のみのもんた氏は「われわれ国民、清き一票をもっている国民は、いったいどこにいっちゃったのかな。民意はどうなるのかなとすごく心配です」と会談そのものに疑問を投げかけました。

インターネット上のアンケートでは自民・民主の連立政権協議に83％が反対で、賛成の14％を大きく上回りました（ヤフーニュース・意識調査）。

審判に逆らう

ここまで怒りをよぶのはなぜか。福田・小沢会談は、参院選挙で下された「自公政治ノー」の国民の審判にまったく逆らうものだからです。

政府・与党は、参院での与野党逆転を受け、国会会期末を今週十日に控えても一本も法案を成立させられず、海上自衛隊の給油活動も撤収に追い込まれました。そこで福田首相は「政策を実現するための新しい体制をつくるべきではないか」と小沢氏に打診する策に出ました。

小沢氏はその場できっぱり反対しなかったばかりか、政府の判断次第でいつでも自衛隊の海外派兵を可能にする派兵恒久法の「立法作業」を条件に、海自の給油活動再開の新テロ特措法案に賛成する考えを示したといわれます。

自己否定にも

民主党は、民意で生まれた参院での与野党逆転を受け、与党との「対決」姿勢を強調してきました。

「公約違反だ。民主党は参院選で自民党を批判して、密談もやらないといっていたのに」（神奈川県の男性会社員・五十歳）、「連立打診するほど、自民党が弱くなっちゃった。党首会談も国民が納得できる説明があればやってもいいと思うけど、まだ説明が足りないし」（千葉県市川市の公務員・三十一歳）…。本紙が三日、東京・新宿駅東口で市民に聞くと、こんな声が次々返ってきました。今回浮かび上がったのは、「自分たちの所見をのべることを捨てて、談合政治に引き込んでいく末期的状況」（日本共産党の志位和夫委員長、二日の記者会見）です。

「新体制」声明をほうふつとさせました。「新体制」は、政党解散・大政翼賛会結成へとつながった歴史があります。

福田・小沢会談と、結局民主党が拒否した連立協議の破たん。「首相は『危険な賭け』に失敗したと言え、政権が死に体となる可能性も否定できない」（「東京」三日付）、「小沢氏に近い党幹部も『小沢さんはもしかしたら代表を辞めるかもしれない』と指摘」（「毎日」同）などと報道されるほどです。

自民党と民主党、衆参の議席の九割を占める大連立構想自体が、「二大政党制」の自己否定にもつながるものです。

（3、15面に関連記事）

◀党首会談後、記者の質問に答える福田康夫首相㊨と、小沢一郎代表＝2日夜

07年 政治考

後期高齢者医療制度に異議

来年四月から始まる後期高齢者医療制度の実施を目前にして、二百八十を超える地方議会が制度の見直しなどを求める意見書を可決したことがわかりました。中央社会保障推進協議会と本紙の調査です。「中止・撤回」を強く求める意見書もあります。国の高齢者いじめの政策に、地方からの強い異議申し立てです。（6面に可決した議会の一覧）

意見書を可決したのは、岩手、福島、長野、富山、和歌山、徳島、香川、高知、鹿児島、沖縄の十県議会と、二百七十一の市区町村議会です。

「中止・撤回を求める意見書」を全会一致で可決したのは、奈良県下市（しもいち）町議会です。

日本共産党以外の議員からも、「『見直し』ではまない」など制度を厳しく批判する意見が出されました。「老後の生活を脅かすばかりで到底認めることが出来ません」と、制度の中止・撤回をきっぱりと求めました。

「凍結を求める意見書」を全会一致で可決したのは、福島県議会です。「高齢者の暮らしと健康保持にとって重大な悪影響を及ぼすことは必至」だとして、実施を凍結するよう強く求めています。昨年の知事選や今年の参院選で厳しい審判を受けた自民党は、制度の中身があまりにも厳しいことを認めざるをえず、意見書に反対できませんでした。

こうしたなか自民・公明両党が、強行成立させたもの。七十五歳以上の高齢者に重い保険料負担とまずしい医療内容を押し付ける内容です。年金額が月二万五千円以上の人は年金から保険料を天引きします。保険料が払えない人からは保険証を取り上げ、「資格証明書」を発行することも法律に明記されています。

後期高齢者医療制度　昨年六月に自民、公明両党が強行成立させたもの。七十五歳以上の高齢者に重い保険料負担とまずしい医療内容を押し付ける内容です。年金額が月二万五千円以上の人は年金から保険料を天引きします。保険料が払えない人からは保険証を取り上げ、「資格証明書」を発行することも法律に明記されています。

281議会、意見書

国民の怒りが動かす

特集6面

共産党、全国で宣伝

「これはない」岡山で反響

日本共産党岡山県委員会は三日、岡山駅前で、福田康夫首相と小沢一郎民主党代表の党首会談について宣伝しました。

福田首相が打診した連立協議問題での志位和夫委員長の談話を掲載したビラを配り、「連立協議は、参院選での国民の審判の結果を踏みにじるもの。国民にとって大問題です」と訴えました。

ビラを受け取った男性が「これはないよね。何を考えてるんだ」と声をあげ、その場で「しんぶん赤旗」を買い求める人もいました。

ビラに見入っていた石井和郎さん（六五）は「参院選挙で民主党が大勝したのは、自公政治への国民の批判があったから。連立するなんてつじつまが合わない」と話していました。「もともと民主党は自民党みたいなもので、あんまりかわらないと思うよ。共産党ががんばらなきゃね。私はそう思ってます」と話す男性（四七）もいました。

ビラを読みながら友人と話していた喜多川美穂さん（二五）は「自民と民主党がくっついたら、多数決で何でも決まってしまう。戦争がやりやすくなるから反対です」と語りました。

日本共産党はこの日、全国でいっせいに宣伝にたちました。

志位委員長の談話を紹介し、宣伝する石井ひとみ委員長（中）ら県委員会の人たち＝3日、岡山駅前

9条擁護に連帯

米法律家団体が決議

【ワシントン＝山崎伸治】当地で開かれている米国の進歩的法律家団体ナショナル・ローヤーズ・ギルド（NLG）の第七十回記念年次大会は二日、日本国憲法改悪の動きを懸念し、憲法九条を守る日本の運動に連帯を表明する決議を採択しました。同趣旨の決議の採択は昨年の年次大会に続くものです。

決議は、憲法九条が「発達した国の憲法で唯一、その一方、日本国民が憲法を守るたたかいを世界的規模で展開していることを歓迎。来年五月に日本で「九条世界会議」が開かれることを紹介しています。

決議は全会一致で採択されました。このほか大会は、ブッシュ大統領とチェイニー副大統領の弾劾を求める決議なども採択しました。

『戦争と武力による威嚇又は武力の行使』を『国際紛争を解決する手段』として放棄した」ものだと指摘。日本国民多数の反対にもかかわらず、自民党政権がおおっぴらに、九条を廃止して「戦争と武力による威嚇」を外交政策としようとしていること、五月に国民投票法を強行したことを批判しています。

群馬県伊勢崎市赤堀の「小菊の里」で、約2万株の小菊が見ごろを迎え、多くの観光客が訪れています。（写真）

この菊は5年前、まちのイメージアップを目的に、地元住民が植えたもの。毎年ボランティアの手で世話され、今年はおよそ300人で丹精に育てました。

今年は猛暑などの影響で、花はやや小ぶり。でも色は鮮やかで、白や黄色の花はまぶしいほどです。「小菊の里」は5日まで開園しています。

300人の労作

潮流

ポール・ティベッツの母は息子自慢で、志願して米陸軍航空隊に入った彼をこう励ましました。「お前はきっとそのうち、わたしたちの自慢の種になるよ」▼一九四四年九月、将軍によばれたティベッツは〝君がその爆弾を投下する役だ〟と告げられます。アメリカが開発中の原子爆弾。物理学を学んでいた彼は、原子力の威力の大きさを知っていました▼四五年八月五日、太平洋テニアン島。ティベッツ中佐は、ペンキ工にメモを渡し、「これをあの機に大きくきれいに書け」と命じます。「エノラ・ゲイ」。彼の母の名前でした。あすは広島へ。不安な彼は、いつも「お前は大丈夫」といってくれていた母にすがりつく思いでした▼翌六日。「エノラ・ゲイ」機は、人類史上初の原爆を投下します。この世のものとは思えない閃光（せんこう）。天をつく炎のかたまり。きのこ雲をみた乗員は、「うわあ、あの化け物を見ろよ！」と叫びました▼「ショックを受けた。想像したよりはるかに大きい破壊が行われた」。機長ティベッツの感想です。以上は、『エノラ・ゲイ』（ゴードン・トマスほか著・松田銑訳）にくわしい。彼は戦後、原爆が「戦争の早期終結に役立った」といいはりました。感情を隠す術（すべ）を身につけていた、といいます▼さる一日、彼は九十二歳で亡くなりました。同じ日、広島で被爆した韓国人四十人は、日本からの出国を理由に援護を受けられないのは違法と訴えた裁判で、最高裁に在外被爆者への初の国家賠償を認めさせました。

ニュースと読み物

たたかい 命と暮らし守る　5
日本共産党・各界代表が語る（上）
憲法公布61年　派兵恒久法許さない 各地で　4
年金記録検証委報告 宙に浮いた責任　2
映像 正当な報酬求め 米脚本家組合ストへ　7
Jリーグカップ G大阪が優勝　11
南京大虐殺名誉棄損 夏さん迎え勝訴集会　14
肺がん発見率9割 血液検査の新方法　14

㊎ 長野・松川村 自然と ちひろ美術館　10

天気

のち　一時　気温　上　下　時々　最高　最低

（日本気象協会・17時）

四日は、日本付近は移動性高気圧に覆われます。北海道から九州は晴れて、行楽日和。沖縄は雨で、風が強く海上は波が高い。最高気温は平年並みの所が多く、東日本と西日本は快適。

	昼	夕	夜	降水%	気温 5(月)	6(火)	7(水)
札幌				10	13		
釧路				0	13		
青森				10	15		
盛岡				10	16		
仙台				0	17		
秋田				10	15		
山形				10	17		
福島				10	18		
新潟				20	17		
富山				20	20		
金沢				10	20		
福井				10	20		

	昼	夕	夜	降水%	気温 5(月)	6(火)	7(水)
水戸				0	19		
宇都宮				10	21		
前橋				10	20		
さいたま				10	20		
千葉				10	21		
東京				10	21		
横浜				10	21		
甲府				10	21		
長野				10	16		
静岡				10	21		
名古屋				10	22		
岐阜				10	22		

	昼	夕	夜	降水%	気温 5(月)	6(火)	7(水)
津				10	20		
大津				10	20		
京都				10	21		
大阪				10	21		
奈良				10	21		
和歌山				10	21		
神戸				10	20		
岡山				0	19		
広島				10	20		
鳥取				10	19		
松江				10	18		
山口				10	20		

	昼	夕	夜	降水%	気温 5(月)	6(火)	7(水)
徳島				10	20		
高松				10	20		
松山				10	21		
高知				20	23		
福岡				10	20		
佐賀				10	22		
長崎				10	21		
熊本				10	23		
大分				10	20		
宮崎				30	22		
鹿児島				10	24		
那覇				80	27		